異世界最高の
貴族、
ハーレムを
増やすほど強くなる
2
［原作］三木なずな
［漫画］木下さとし
［キャラクター原案］へいろー
THE STRONGEST
HAREM
OF NOBLES

異世界最高の
貴族、ハーレムを
増やすほど強くなる
2
[原作] 三木なずな
[漫画] 木下さとし
[キャラクター原案] へいろー

CONTENTS

第8話 本物はどこにある?

スキルで剣が上手く扱えるようになったからな
ちゃんとしたいい剣が欲しい
それに…
反乱、
剣、女剣士
――!!
女戦士!
反乱!?
何が起きようとしている――!?

………
それに?

…いや
不確定な情報は父さんを混乱させるだけか…
なんでもない

……

第8話 本物はどこにある？

コンコン
ユウト様
ひょこ
こんな郊外に住んでるなんてどんな人なんでしょうね
さぁなそれより
オレは一人でも大丈夫なんだが
でもアリスが
「ユウト一人じゃ心配だからついてってあげて」って
やれやれ
アリスもオレを子供扱いか
コンコン
コンコン
うるっせーな!
誰だ!?

ギロ
ザ
何者だ小僧
ユウト・ムスクーリという者だ
バルカンさんあんたの打った剣が欲しい

ギロッ
!!
ユ…ユウト様!
ちょっと不躾じゃないですか!?
まずは紹介状をちゃんと読んで頂いて――
いいんだよ
ゴゴゴゴゴゴ
父さんには悪いけど
肝心なことが書いてないいんだよ
紹介状なんてのは
…!
……
入れ
くぃっ

ザッ…
小僧
どうして剣が欲しい？
ん？
キョロキョロ
刀匠のくせに変なこと聞くんだな
ギロッ
何ぃ!?
いい道具が欲しいって思うことに
理由がいるのか？
ぴくっ

…ふん
ズラ
リッ
！
ドッ
カッ
その辺にあるのから適当に持っていけ！
いいのか？
ダイモンには借りがある
十本でも二十本でも持ってけ！
ダイモン様との間に何かあるみたいですね
ああ
だがどうでもいい
えっ

オレにとって大事なのはバルカンの打った剣が

〝本物〟かどうかだ

スキル〔流麗なる長剣マスタリー〕!!

ヒュン
ヒュン
ジャキ
じっ
ヒュン
ヒュン
確かにどの剣も儀礼剣とはまるで違う――
放つ輝き(オーラ)
斬れ味
扱いやすさ
〔流麗なる長剣マスタリー〕のおかげで剣の性能がはっきりとわかる!
――中でも

これをもらって
いいか？
!!
…なんで
それを
選んだ？
これが一番
いい剣だからだ
？
……………
俺の傑作を一発で
見抜いたのは
お前が
初めてだ
ガチャ

ついてこい
!!
俺が刀匠を目指したのはな…偶然この地に辿り着き
ある剣に惚れ込んだからなのさ
恐らく元の持ち主も
お前に託すなら本望だろう
?
…

ド

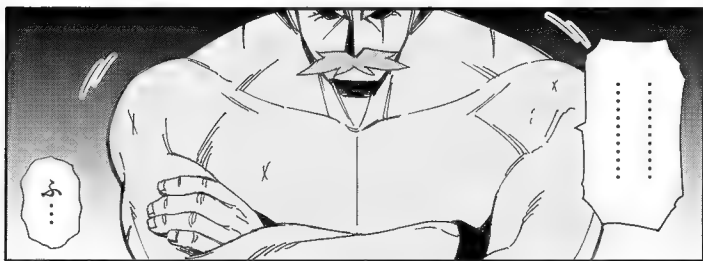
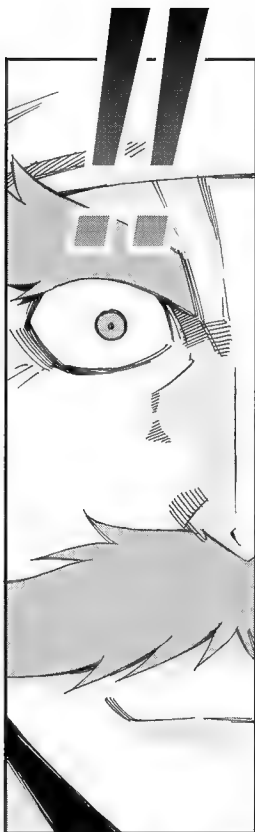
俺が目標とするこの剣は!!

本物を見抜けるお前にふさわしい!!

いや　これはいらない

え…
……なぜだ？
？？

さっきのほうが断然いい剣だろ
さっきのをくれよ

…………………
ふ…

ふは――はっはっはっはっはっ！
言葉や行動に惑わされずに正しいものを選ぶ！
お前の目は〝本物〟だな!!
！
…試したのか
手の込んだウソまでついて…
悪趣味な職人だな
悪いな
世の中にはバルカンの名前だけで寄ってくるバカが多くてよ
たしかにこいつはハリボテだ
小僧…いや

気に入ったぜ
ユウト
ニッ
このバルカンが全身全霊で
ザ
ッ
お前のための剣を打ってやる!!

第9話 カンカン！パンパン！スパパパン！

第9話 カンカン！パンパン！スパパパン！
は…恥ずかしいいっ
ガクッ
ガクッ

スキル〔ノブレスオブリージュ〕……
すや――
二度目以降の行為では特に変化は見られないか…
ザッ
なんだ野営したのか
うちに泊まってもよかったのにな

…人様の寝室を汚すのは気が引けてな

はっ そいつは確かに御勘弁だ

しっかし長男とはえれー違いだな お前は

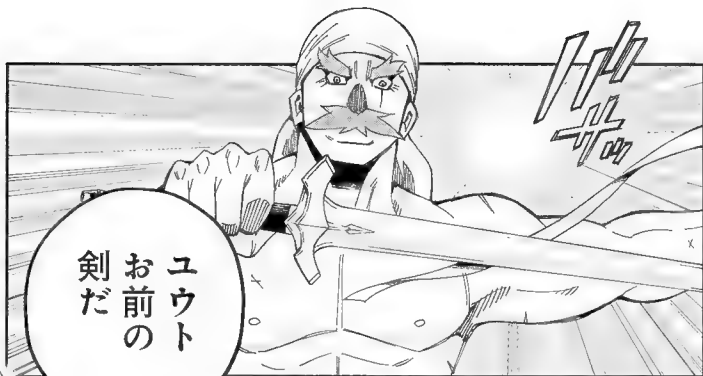
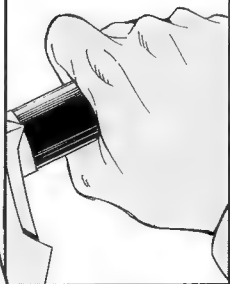
！

ナノスもここに来たのか？

「バルカンの名前だけで寄ってくる馬鹿」の典型だったな

なるほど

っと そんなことはどうでもいい

シュル

ガチャッ
ユウト
お前の
剣だ
本当に
一晩で
打ったのか……！
俺を誰だと
思ってる
振って
みろ
ジャキ

ヒュン
ヒュン
ヒュン
すごいな…
前の剣がかすむくらいいい剣だ…！
ジャキ…
ありがとうおっさん
この剣大事に使わせてもらうよ
ス…

いいってことよ
ユウト
お前には本物を見抜く確かな眼力がある
その眼力と俺の剣で
父親を支えてやれ
ダイモン
ああ!

!
ユウトさん！
待ち焦がれましたわ〜〜
お姉ちゃんおかえり
あと ユウトも

パルテノス！
無事に来られたか
ぎゅっ!!
はい！
誠心誠意ご奉仕させて頂きますわ！
ささ！ベッドへ参りましょう
ちょっと新入り
今日のユウトの相手は私とお姉ちゃんよ
おわかり？
こらアリス
すみませんちょっと生意気な妹で
よろしくお願いしますパルテノスさん
！
…うっ

三人で仲良く致しましょう♡

きゃい

あのなお前ら…

きゃい

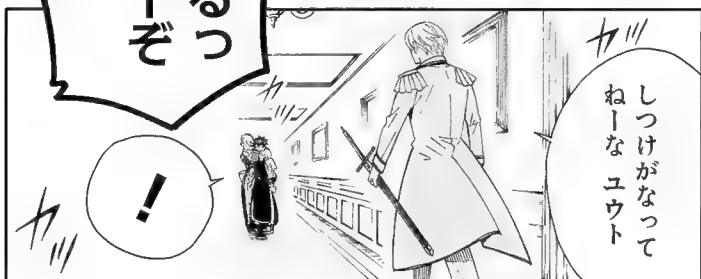
ちょっと何勝手なこと——

うるっせーぞ!!

しつけがなってねーな ユウト

カツ

！

カツ

てめぇのメス豚どもはよぉ!!
——!!!
聞いたぜ
バルカンから剣をもらったくらいでいい気になるなよ
ジャキ
俺だって持ってるしなぁ？
……………っ違います…

ユウト様の剣はバルカンさんが特別に打ってくれた物です！
キッ
なにぃ!?
…っ
特注だと…
ギリ
ギリ
カタ
カタ
メス豚
俺様に口答えしたな？

この
親に売られた
哀れな貧乏姉妹と
呪われた
エルフの売女
があぁあああ
キッ
!

パ
パ
パ
パ
ス
パ
パ
パ
パ
パ
ス…
キン
バサササササッ
!!
なにい〜〜〜!?
アアア
——!!!

バルカンの言った通り
お前には〝本物〟を見抜く眼力がないな
……!?
三人ともオレの大事な女だ
侮辱することは許さない

…お
覚えてろよぉ――!!
ダッ
ひゅ――
ゴロ
ゴロ
ゴロ…
……………
嫌な空だな

第10話 ボクっ娘の腹筋

ぽ
…さて
アリス
パルテノス
正式にムスクーリのメイドになったからには
まずはきちんと仕事を覚えること
いいな？

アウクソ
二人をメイド長の所へ
頼んだぞ
ザッ
はい！
ビシッ

驚いたな

それに比べて…
はぁ
ん？
ナノスと揉めたそうだな
告げ口が早いな
ああそれは
ガタ
いやいい
どうせ突っかかったのはアイツだろう
それより…
すごい剣さばきだったたって？

ギィィィン
なるほど
お前の言うピンク色の光というのは私には見えんが…
熟練の度合いが格段に増したな
何もここで試さなくても
息子の成長は早く確かめたいものなんだ
キン
それにしても…

〔流麗なる長剣マスタリー〕か…
聞いたことのないスキルだな
眼鏡、太陽、地下
それに加えて〔予言〕に〔透視〕か…
ユウト
お前が身につけたスキルは どれも
上位で希少なスキルのようだ
お前が持つ〔ノブレスオブリージュ〕の力…
これはすごいことだぞ…！

あぁ

だがまだこのスキルについて全てわかったわけじゃない

そうだな

引き続き好きなようにやっていい

ふふ

?

いかんな

息子は皆公平に見たいのだが…

お前の将来を考えると楽しみで仕方ないよ

……父さん
〔予言〕について実は気になることが――
大変です ご当主様！
バン
どうした？
…しょ荘園が…
ハァ
ハァ

荘園の連中が
反乱を起こし
ました!!

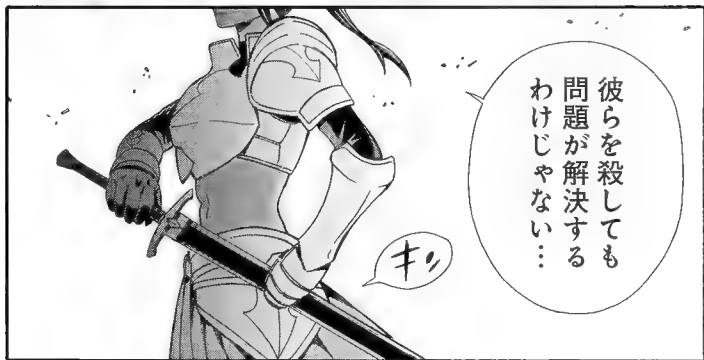
何!?

そして…

反乱の鎮圧に
向かった駐兵が
全員…

返り討ちにあいました!!

オオオオォオォ
いやぁ
お見事ですよ
セレスさん
燃やせ
ためらうな!

しかしまだ
息がありますよ
殺さないん
ですか?
我々の覚悟
を見せる
のだ!
…っ

ボクは正義のために剣を振るう！

荘園の反乱…！〔予言〕が示す女戦士が…
次のスキル持ちの女が
そこにいる!!
敵は
悪徳貴族ダイモン・ムスクーリ!!

ざわ

ざわ

――

――

ダイモン様準備が整いました！

ガシャン

このルキウス率いる部隊が反乱を鎮圧して参ります！

兵士 ルキウス

うむ

…交渉はしないのか？

………状況次第だが――

交渉なんて必要ありませんよユウト様！

身の程をわきまえない愚民どもなど
このルキウスが今すぐ制圧して参ります
では！
ザッ
バタン
武力で制圧…領主として正しい判断だろう
だが！
ザッ
父さん
この反乱オレに解決させてくれないか？
――！

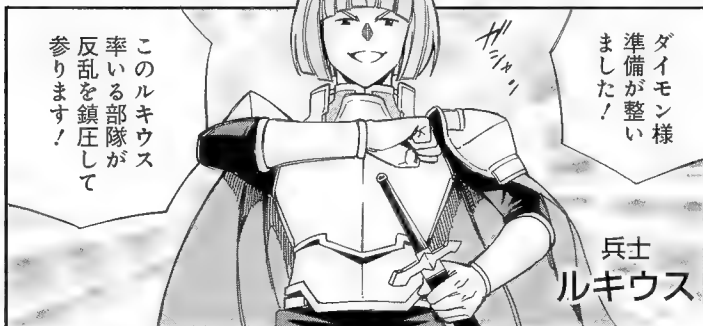
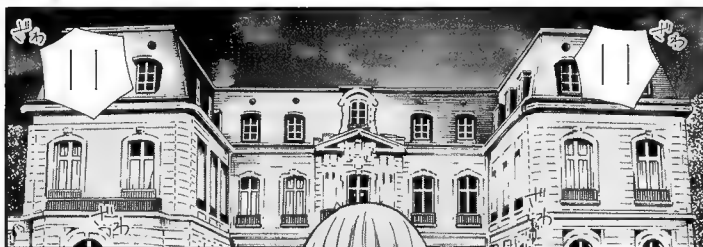
………ダメだ
さすがに危険すぎる
暴徒化した民の怖さをお前はまだ知らな――
父さん

〔ノブレスオブリージュ〕でスキルを手に入れた
グ

剣も新調した
チャキ…

準備はできている

…！
ユウト お前まさか…こうなることを――

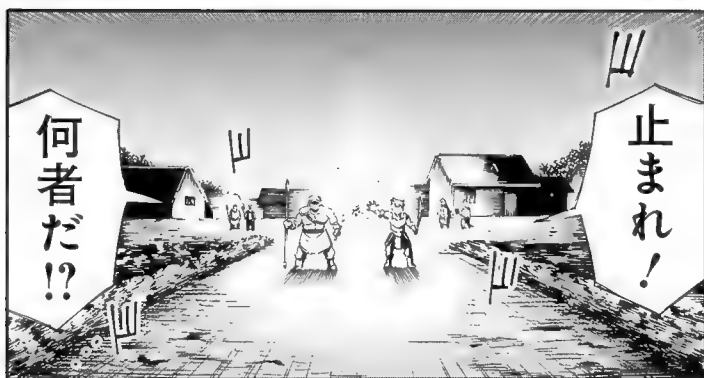
あぁ

この反乱を収める

それが今オレがなすべきことだ!!

わかった

お前に半日時間をやる

ルキウスたちの部隊が到着するまでにやれることをやってみろ

ドドドドド

ユウト・ムスクーリだ
ざわ ざわ
ユウト…ムスクーリだと!?
領主の一族か!?
ああ 当主の名代で来た
……少し待っていろ
キョロ
ざわ
ざわ
なんか大ごとになってきたな
ユウト様だ
とっくになってるぞ!
キョロ
ざわ
わしらはどうなるんだ?
今さら引き返せないわよ!
堂々としてな!
ざわ

暴徒化した民…には程遠いな――
それに…外部のあの連中は？
……この反乱何か…妙だな――
何!? 領主の息子が!?

…意外だな
兵を派遣し武力で制圧しに来ると思っていたが…
どうしますルークのお頭…！
コソ コソ
慌てるな
子供一人に何ができる
非力な貴族が来たところでこちらには…
ニヤ…
強い強い
正義の味方がいるからな

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
止まれ！
!!
カシャッ
悪徳貴族ダイモン・ムスクーリの息子が一人で何しに来た!?
いたな…〔予言〕の女剣士!!
しかし悪徳貴族か…

ユウトだ
ユウト・ムスクーリ
話をしに来た
ボクはセレス
弱き者のために戦う剣士だ
・・・！そうか・・・
ジャキ・・・
女剣士セレス

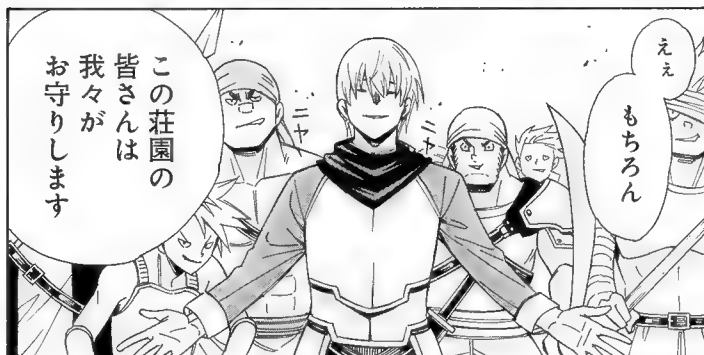
後ろの連中はセレスの同志か？

ええ
もちろん
ニヤ
ニヤ
この荘園の皆さんは我々がお守りします

………っ
ジロリ
ビクッ

……なるほど
見えてきたな

どうやら この反乱
ムスクーリの民が
主導したものじゃないいな

扇動したのは
十中八九
あの連中…！

きちんと民の声に耳を傾け
お前たちの愚かな行いを正すと誓え!!
話はそれからだ!!

反乱に関わった者は全員死罪とする

そして
セレス
お前は
オレの女に
なれ
ジャキ
ザワッ
なっ…
ニィ

反乱に関わった者は全員死罪とする
セレス　お前はオレの女になれ
第12話　顔が近すぎてほぼ前戯

…！
そんな…

なんて…傲慢で身勝手な…！
貴族に正義はないのか…！
ジャキ

………

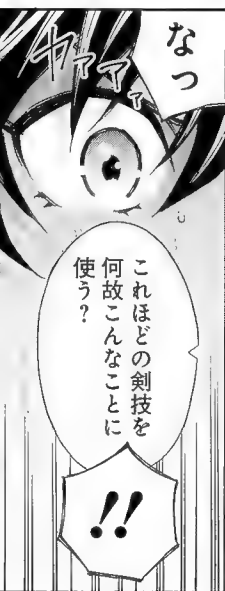
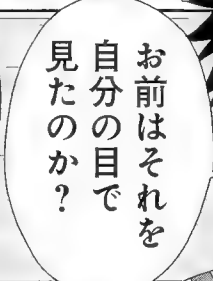
許さない!!

第12話 顔が近すぎてほぼ前戯

オオオオ
オオオオ
無能!!
どんな貴族かと思えば ただの世間知らずのお坊っちゃん!
これは利用できる!
これがムスクーリという貴族なのです!
今までどれほどこの荘園の民が苦しめられたことか
わかってる
容赦はしない!!

ギン
ギン
…っ
ギン
ギン
ギャン
ビキ
なるほどこの強さ…
並の兵士じゃ何人でかかろうが返り討ちだな
虐げられた民の苦しみを…痛みを！
ボクの剣で今教えてやる！
聞け

邪魔されずに話すために決闘に誘った

ひゃっ

こんなこと
だと!?
善良な民を苦しめる
ようなことは
ボクの正義が
許さない!!
ほう
お前はそれを
自分の目で
見たのか?
!?

ムスクーリの領地の民が苦しんでいるのを見たのかと聞いている
……見なくてもわかる！
貴族のすることは！
ほう
キッ
あの連中にそう聞かされたか？
それを鵜呑みにしたんだな？
そ
それは――
お前の正義は
奴らに利用されている！
な…
⁉

ザク
ざわっ
――!!
……
貴様…今――
ポイ
まいった
オレの負けだ

――!!

待て…

この荘園の園司はいるか？

は　はい

スッラと申します

すまなかった
さっきの死罪は取り消す

反乱を決意させるような
統治をしていたこと
まずは詫びたい

貢祖と労役を減らせるようダイモンと交渉する
それと月イチで旅芸人を送る
費用はもちろんこっち持ちだ
な・・・
わっ
ガ！
なんですってぇえ!?
………!!
………
それで足りないなら——
ザ　わ
じゅ十分でございますユウト様
あんた…！
ざ　わ
あぁ　すごいぞ…！
ざわ
ざわ

最後の一撃…奴はわざと剣を折って負けを宣言した！

その上で税を減らし旅芸人まで与える!?

そんな貴族がいるものか!!

あの貴族(おとこ)がわからない!!

ちょっと待ってください

我々は今この子供の命を握ってるんです
領主の子供の命を！
力の差を見せつけられ為す術なし…
先程の発言も助かりたいがためのでまかせでしょう

それが貴族！
ですよね？セレスさん
それは…

こんな子供を信じるよりも
私にいい提案がありますよ
え
いったい——…

この子供を
人質に取って
ダイモンに身代金を
要求するのです！
大金を得て
この反乱を
大成功と
しましょう!!

まっ
待ってくだされ
身代金なんて
とんでもない！
我々はさっきの
条件で十分
です！
ユウト様を
信じます！

あなた方には
感謝してます
これは心ばかりの
お礼です
チャリン

はァ
無能な貴族には無能な民が相応しいか
ひっ
お前らは我々に従ってればいいんだよ
ルーク！
ばっ
何をしている!?
──!!

貴族に虐げられる
民を救うためにお前たちは
立ち上がった
その正義に
ボクは力を
貸した！
そう
だろう
!?
…ええ
もちろん
正義は
ありますすよ
〝金〟という
名の正義
がねぇ!!
はははははははは
──!!
お前の正義は
奴らに利用
されている！
くっ…！
ジャキ…

やっと本性を現したな

!

これでお前たちを始末できる

ユウト　ムスクーリ！

我がムスクーリの民を侮辱した罪は重いぞ

ジャキ

ははははは

イキるなよ小僧

無能な貴族が誰を始末するって？

黙れ

覚悟しろ

たとえ剣をもう一本持っていようと

奴はセレスとの戦いも簡単に諦めた軟弱者

我々の敵では断じてない! ないないないない

ありえない!!
第13話 煮るなり焼くなり好きにして

見事だ…！
敵の何人かは剣では敵わないと悟り
荘園の民を人質に取ろうと動いている
だが
それすら先読みし迎撃している!!
ぎゃっ
民を守りながら戦っている――!!
こんな貴族がいるのか…！
それに比べてボクは――

ひいっ

ま…待て！

ジャキ

今回が初めてじゃないだろう

他の領地ではうまくいったか？

無能なゴロツキに

ムスクーリの名誉を穢させなどしない！

私は確かに感じた！お前の持つ…
今がその恨みを晴らす時だ!!
貴族への憎悪を!!
ドクン…
父上！兄上！
何故苦しむ民の声が聞こえないのです！
貴族ならば正しいことを…正義を実行してください!!
黙れセレス！
女が正義を語るな!!

お前はおとなしく子供でも産んでりゃいいんだよ
それが女の役割だ

――〝女〟の私では正義を行使できないと言うの…？

なら私は……
いや
バチン

ボクは――!!

ダッ

!!

ダダッ

そうだ！
殺れ!!
地位なんかなくてもなぁ
賢い人間は！
思う通りに世界を動かせ――
……なん…で

ボクが剣士になったのは
正しいことを正しく行うため…！
ザ…
だからボクは
ユウト・ムスクーリとともに
この荘園の民を守る!!
…っ
…ふ

こいつらはムスクーリの兵に引き渡す
直に到着するから安心してくれ
はい…
あの…ユウト様
申し訳ありませんでした！
ペコッ
その男に唆されて…
気付いた時には後戻りできなくて
気にするな
さっきも言ったが我々にも非はある
セレス
お前がいて助かったよ
民に被害はなかったからな
……いや

ボクは
何もできなかったあの頃のまま――
剣士失格だ

煮るなり焼くなり好きにしてくれ
殺されても文句は言えない…

セレス お前に決闘を申し込む

!?

純粋にお前と勝負がしてみたい
素晴らしい剣技を持つセレスお前と…！
それがオレの望みだ

ボクと……？

まったく
なんなのだ
お前という
貴族は…

ユウト・ムスクーリ！

ボクもお前の
ことが知りたい
剣を交えたい！
シャキ
望むところだ！

勝負!!

きれい…
くっ…
礼を言うぞ
ユウト・ムスクーリ

!!?

消えた？

第14話 お前についてるラジオ最高

よく見抜いた！
速いな！その鎧でそんなに速く動けるのか
もっと速くなるぞ！
目では追えないか…
ならば——

スキル【予言】!!

勝たせてもらうぞユウト・ムスクーリ!

っ…

ドンッ

セレスの次の動きが

見える!!

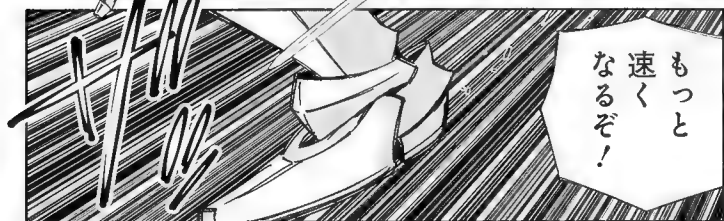
くっ…
何!?
!!

オレのほうこそ礼を言う

ドッ

ガシャン

ジャキ…

〔予言〕のスキル…戦闘にも応用できるようだな

完敗だな

ユウト・ムスクーリ
お前に出会えてよかった
一から出直しだな——

いい顔になったじゃないか
セレス

ちゅっ

なっ

何をする!?

ん?
煮るなり焼くなり好きにしろと言ったろ
それは…さっき
けっ決闘に応えたじゃないか!

望みがひとつとは言ってないぞ

こんなこと
されるなんて
思わなかった！
がしっ
それはお前の
想像力不足だ

殺されても文句は
言えないとまで
言ったのは誰だ？
――!!

…………くっ

好きにしろ…

そう
させて
もらう

正義を貫くためにボクは女を捨てたんだ

男でいなきゃ…ボクの生きる意味はないんだ

バカだな

お前にそんな思いを抱かせたこの世界がバカらしい

――!!

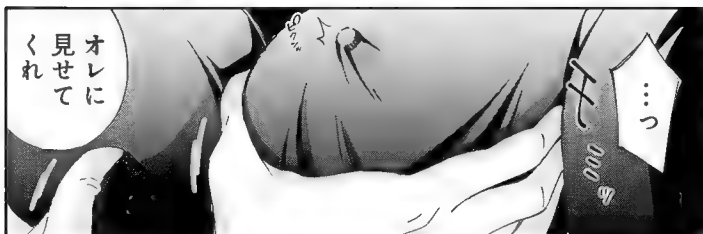
オレのために女に戻れなんて言うつもりはない
お前の暑苦しいくらい情熱的な所も
悪人に利用されるくらいまっすぐな所も
オレはお前を気に入ったんだ

ガチャッ…

だから
セレス
ちゅ♡
ちゅ♡
ん…

…っ
オレに見せてくれ

本当のお前を——

ピクンッ♡
はぁん♡

第15話 ボクの知らないボクの汗
女を捨てることに
抵抗はなかった
誰かに
恋したことも
なければ
昔から着飾る
ことよりも
剣を振るほうが
好きだったし
人肌を欲した
こともなかった
ボクには元々
女の部分がない
そう思っていた

第15話 ボクの知らないボクの汗

ちゅっ♡
んっ
んん
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ユウト・ムスクーリ

あ♡
ボクの知らないボクが…
止められないぃ…!!
ビクッ
ビクッ
あぁあん♡

はぁ
あ♡ああ♡
はぁ
ガクッ
ガクッ

何をみている…!?
いや
かわいいと思ってな

カァァァァァ
キッ

勘違いするなユウト・ムスクーリ!
ボクはお前に気を許したわけじゃない!
ほう

民に迷惑をかけ
決闘にも負けたから
仕方なく受け入れた
までだ！
そうか
だから
ボクは——
くちゅ
あっ♡

まて
まだ
あ♡
話してる
途中——
あぁ♡

つまりお前は
感じてなんか
いないと？
ぢゅる
当然だっ
ああんっ♡
ぢゅる
その割には
かわいい声が
もれてるぞ

こ…
これは
剣士の
呼吸法
だっ
あっ♡
ん♡
ぞく♡
なるほど

じゃあ ここは?
ひゃ ん♥
ドロォ♥
これは…汗だ
ボクは汗っかきだ…!
そうか 汗っかきの 女は
好きだぞ オレは
んあああ
ンッ

全然…気持ちよくなんか…
ないからな
はぁ
はぁ
あぁ
セレス入れるぞ
え
まじ
まじ
まじ
ま待て
そんな大っきいの入らな——
ずずずちゅ
カァァァァァァ

ぱんっ
あっ
ぱんっ
ずんっ
ぱんっ

——スキル〔ノブレスオブリージュ〕により〔騎士鎧マスタリー〕を複製
…ユウト・ムスクーリ
ん？
〔騎士鎧マスタリー〕が〔不屈の騎士鎧マスタリー〕に進化します

いい気になるなよ！
ボクはその…初めてだったんだ！
だからそのっ
いいようにやられたが…次はそうはいかないからな！

………………

ふ
次を期待していいんだな
!
今のは言葉のアヤで——

お前はオレの女にする
ちゅっ
そう言ったろセレス

これからは
オレの隣で
剣を振れ

第16話 お触りメイドとお引越し

ドン！
なのになんで
メイドなんだ！
しかも丈が短い!?
すっ
ひゃっ♡
やはり戦う女性は体がひきしまっていますのね♡
尻をさわるな！
いいねー
腹筋仕上ってるね――
こらアリス！
…私も触っていいですか？
なでなで
なでなでするな！
かたーい♡
キャッキャッ♡
コラー！
屋敷で鎧姿は物騒だからな
しばらく我慢してくれ
くっ…いっそ殺せ
ほんのしばらくさ
四人とも

引っ越しの
準備だ

屋敷を
出たい!?

ああ
相変らず
いきなり
だな
まだ
反乱鎮圧の
ねぎらいも
済んでないのに
〔予言〕に そう
出たのか?

よし それならロスターフの郊外にある別荘をやろう

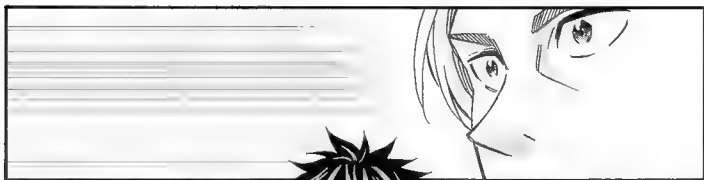
いや

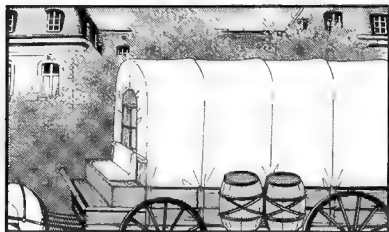
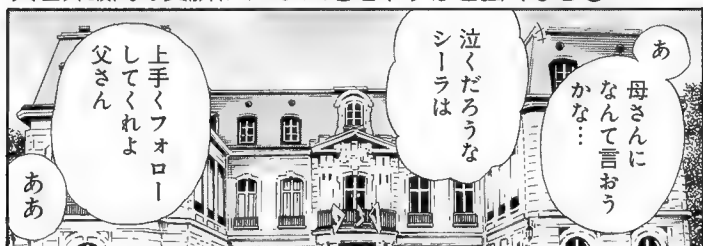
ムスクーリ領南西に放置してある荘園があったろう？

あれをくれないか？

――何!?

わかっているのか
ユウト…
あそこはモンスターの被害に遭い 復旧せず放置された荘園
水も食糧も建物も整備されていない
生きていくには困難な場所だ…！
あぁ

だから
おもしろいん
じゃないか

自分の女を増やして
住まわせるための荘園だ

関係ない人間は
いないほうがいい
一からオレのものにする

……
いつ以来だ お前のそんな 楽しそうな顔は

娼館
「ノブレス オブリージュ」
このスキルが お前に与えたものは 計り知れんな…
ユウト

どこに行こうと
お前らしく
好きにやれ！
あぁ
行ってくる！

あ
母さんになんて言おうかな…
泣くだろうなシーラは
上手くフォローしてくれよ父さん
ああ

さぁ出発だ

オレたちの〝楽園〟へ!!

便利な馬車ね

パンとお菓子をたくさん作ってきたので皆で食べましょうね

荘園までは二日程だったか

ああのんびり行こう

さて

ではユウトさん

ん？

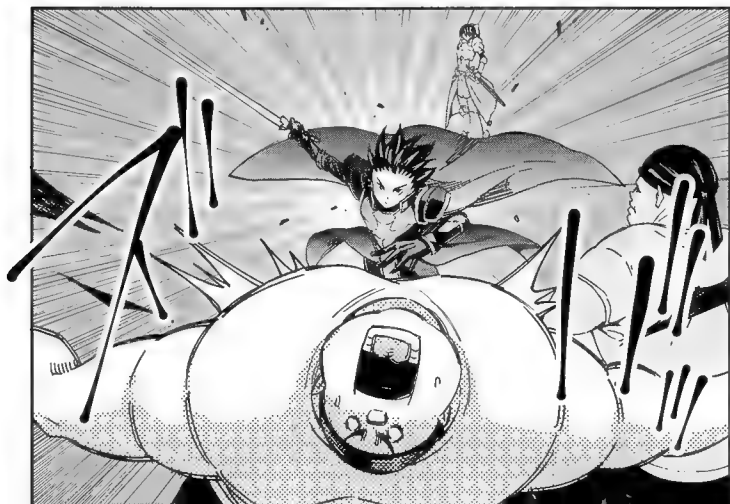
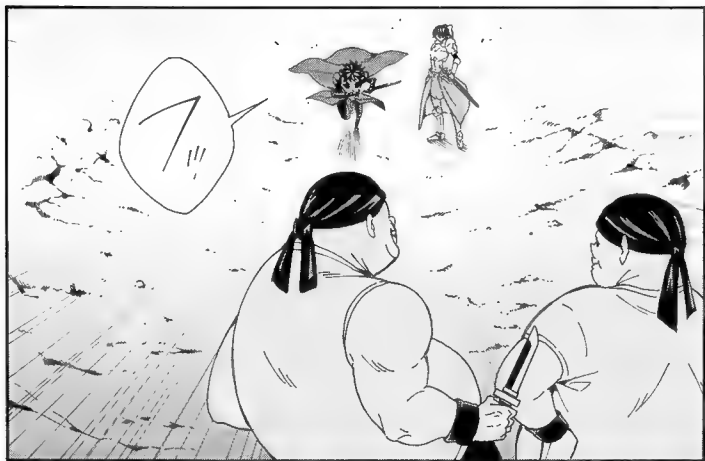
はらり…
抱いてくださいませ
!!
でかい
なんで脱いでるんですかパルテノスさん!
ハレンチな!
決まってますわ
時間はたっぷりあるんですものやることは一つでしょう?
…そうだな
さ
脱ごうお姉ちゃん
え!?
ボ ボクはしないぞ!
だが後でな
きゃあああああ
何事だ!?

お!
いやっ
ザッ
盗賊か…!
今日は豊作だな
旅芸人の次は貴族の馬車か!?
お前たちは外に出るな
女もいるぜしかも上物!
ツイてる～
いや不運だったな
ジャキ…

ザザッ

へ

ドサッ
え？
ぐっ
お前達は　スキル
〔不屈の騎士鎧マスタリー〕の
練習台だ
や
ザザザザザザ
やりやがったな！
殺せ！
共に戦うぞ
ユウト・
ムスクーリ！
遅いな
おおおおおおおっ

消え!?
ぎゃあ
ちょこまかと…捕らえろ――!
無理だな
ボクのスキル〔騎士鎧マスタリー〕は鎧の重量を感じなくなる
その上位互換のスキル
〔不屈の騎士鎧マスタリー〕
それは

鎧をつけると移動速度が倍になる!!
ユウト・ムスクーリはこの戦場で誰より速い!!
終わったか…
ジャキ…
くっそがぁあ!!
きゃあ
しまった!残党が——
心配ない
うちにはもう一人…

頼もしい剣士がいる

〈長剣マスタリー〉

――によりスキル〔長剣マスタリー〕が〔流麗なる長剣マスタリー〕に進化します
はっ
!?
更に　スキル〔ノブレスオブリージュ〕により〔長剣マスタリー〕が覚醒されます
覚醒!?
どういうことだ――
ちょうけんますたりーってなに？
!
アリス！聞こえたのか今の声が！
うん

つまりその時
アリスはまだスキルが
覚醒していなかった？
ずらかれ
おぼえて
やがれ
ああ

確かにスキルは
持っていても
機会がないと
一生覚醒しない
ものらしい
からな
そう…

ノブレスオブリージュはスキルに
無自覚な女でも覚醒させ
進化する
だから——
あの

ありがとうございます！
ペコッ
あなた方が通らなければ我々はどうなっていたか
何かお礼をさせてください！
旅芸人の一座ね芸でも見せてもらおうかしら
困った時はお互い様ですわ
こらアリス調子にのらない！
当然の正義だ

じと…

…………
うるっ…

だったら一緒に野宿をしないか？こちらも宿場町を逃してな
近くにフォローしあえる人間がいた方がいいだろう？
はい
是非！

だから——
あ、

ユウト様
素敵っ
ぱんっ
もっと
だから行きずりの女であろうと機会があれば
激しく…

迷わず抱く!!
はぁぁぁ♡♡

――スキル
〔ノブレスオブリージュ〕の
条件を満たしました
スキル
〔ノブレスオブリージュ〕を
発動します――
それがオレの
なすべきことに
つながっている―――!

わたくしも
晴れて
ユウトさんの
メイド♡

メイドと
いえば――

パルテノス
掃除が行き届いてないな
お仕置きだ
ぱんっ
ああん
ご主人様ぁぁぁぁ♥
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

ご主人様に対する態度がなってないな
お前の指導不足じゃないのかアウクソ
ごめんなさいユウト様
ダメだ
姉妹一緒にお仕置きだ
ヂュポッ
ヂュポッ
ヂュポッ
おねえちゃん♡
アーリス♡
ヂュポッ
ヂュポッ
ヂュポッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ♡
ビクッ♡
二人とも！マジメにお仕事してください！
エヘヘ

NEXT
俺を見つけた兎
俺を吸うバニー
［原作］三木なずな
［漫画］木下さとし
［キャラクター原案］へいろー
俺が見た予言
兎、共闘、嘘つき、頸椎
俺に隠れる野人
異世界最強の貴族、ハーレムを増やすほど強くなる 3
THE STRONGEST HAREM OF NOBLES
YJC
2023年夏、発売予定!!
※2023年1月現在の情報です

異世界最高の貴族、ハーレムを増やすほど強くなる

２巻

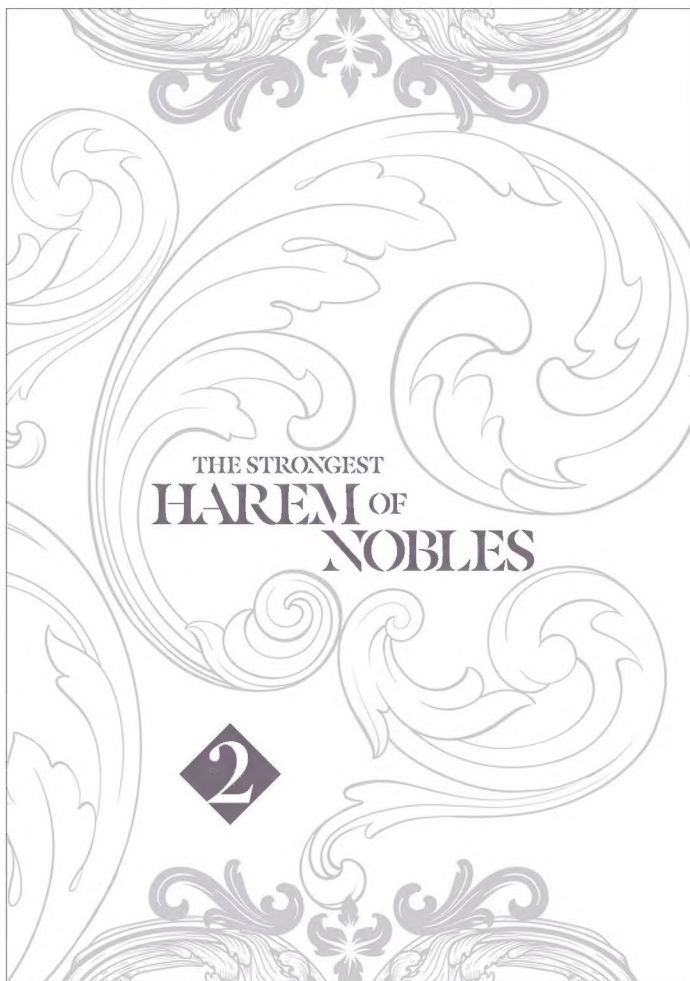
初版発行　　　　2023 年
デジタル版発行　2023 年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

異世界最高の貴族、ハーレムを増やすほど強くなる

2

［原作］三木なずな
［漫画］木下さとし
［キャラクター原案］へいろー

YJC DIGITAL

YOUNG JUMP COMICS

THE STRONGEST HAREM OF NOBLES

2

SHUEISHA